

年間研修計画の工夫

中学校

特別支援教育に関する研修を定期的に実施する取組

活用した資料

校内研修プログラム P 4
一校内研修プログラムの年間の活用
例一

○ 実践の概要

本校では、次の3つを柱として、特別支援教育の充実に努めています。特に、特別な教育的支援を必要とする生徒への指導や支援については、年間を通した研修等により、全教職員で共通理解を図るなど、学校全体で対応できるよう取り組んでいます、

① 校内研修

4月と5月に、生徒の実態交流及び特別支援教育の基本的な考え方や知識を深める研修を実施しています。

※その他、研修担当と調整して、年間を通じて研修を計画



【校内支援委員会の様子】

② 校内支援委員会

定期的に月1回開催し、主に特別な教育的支援を必要とする生徒への支援について話し合い、必要であると考えられる指導や支援の内容について、共通理解を図っています。

③ 町の合理的配慮協力員の活用

月1回程度、町が独自に配置している合理的配慮協力員に特別支援学級及び通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒の様子を参観してもらい、助言をいただいています。

また、必要に応じて、生徒及び保護者との相談も実施しています。

○ 実践の成果

特別支援教育に関する研修や会議を定期的に行うことにより、特別支援教育担当者だけでなく、全教職員の共通理解に基づく、一貫した指導や支援を意識できるようになってきました。

課題であった不登校の生徒への対応についても、生徒の実態や保護者のニーズに応じて迅速に取り組むことができるようになってきました。